

謝辞

本論文の作成にあたり、尾縣 貢助教授には、終始懇切丁寧な御指導、御高闊を賜りました。また、尾縣先生には、博士論文の作成以外にもスポーツ科学の研究者として、またスポーツの実践者として進むべき方向に関して多大なる御指導を賜りました。ここに深く感謝いたします。

高松 薫教授には、学群から本論文の作成に至るまで、研究の手法や論文の書き方等に関して多大なる御指導を賜りました。研究者に必要とされる基本的な知識は、全て高松先生に御指導を賜りました。ここに深く感謝いたします。

村木征人教授には、筑波大学 陸上競技部のコーチとして、棒高跳に関する基礎的知識から、人としての生き方に至るまで、多大なる御指導を賜りました。本論文も、村木先生の御指導を私なりに裏付けること、そして解釈することが目的でした。ここに深く感謝いたします。

また、大山卞圭悟講師、田内健二氏（国立スポーツ科学センター）には、実験やデータの分析にあたり、貴重な御指導を賜りました。さらに、実験および本論文の作成にわたって貴重な御助言を頂きました尾縣研究室の皆様、そして被験者として御協力いただいた筑波大学 陸上競技部員の方々に厚く御礼申し上げます。

最後に、9年間に渡る筑波大学での学生生活を支援してくれた両親に、そして9年間に渡り応援してくれた京田真理さんに深く感謝いたします。

2005年1月 木越清信